

みずほCustomer Desk Report 2017/10/02号(As of 2017/09/29)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	112.74
TKY 9:00AM	112.49	1.1781	132.53	0.9708	1.3429	0.7848
SYD-NY High	112.74	1.1833	133.10	0.9721	1.3442	0.7860
SYD-NY Low	112.22	1.1773	132.29	0.9670	1.3350	0.7818
NY 5:00 PM	112.50	1.1813	132.91	0.9679	1.3400	0.7832
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.74/10.14		△25RR	1.635	Yen Call Over	

	債券市場	日本2年債	-0.1210	▲1.3bp
NY DOW	22,405.09	23.89		
NASDAQ	6,495.96	42.51		
S&P	2,519.36	9.30		
日経平均	20,356.28	▲6.83		
TOPIX	1,674.75	▲1.42		
シカゴ日経先物	20,385.00	25.00		
ロンドンFT	7,372.76	49.94		
DAX	12,828.86	124.21		
ハンセン指数	27,554.30	132.70		
上海総合	3,348.94	9.30		
為替市況	USD/CNH	6.6468	▲0.0075	
	ドルインデックス	93.08	▲0.01	
商品市況	CRB指数	183.088	0.10	
	NY金	1,284.80	▲3.90	
	WTI	51.67	0.11	
	Dubai Spot	55.82	▲0.92	

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月29日	08:30	日	CPI/コアCPI/コアCPI(前年比)	8月 0.7%/0.7%/0.2%
	08:50	日	日銀金融政策決定会合における主な意見	-
	17:30	英	GDP(前期比/前年比)・確報	2Q 0.3%/1.5%
	18:00	欧	CPI予想/CPIコア(前年比)・一次速報	9月 1.5%/1.1%
	21:30	米	コアPCE(前月比/前年比)	8月 0.1%/1.3%
	22:45	米	シカゴ購買部協会景気指数	9月 65.2
	23:00	米	ミシガン大学消費者マインド・確報	9月 95.1
9月30日	00:00	米	ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-

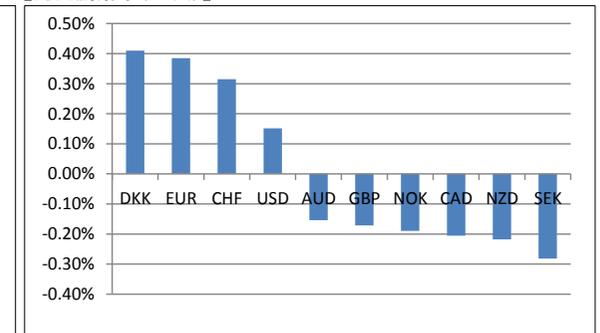
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月2日	08:50	日	日銀短観	9月 -
	16:55	独	マークイット製造業PMI・確報	9月 60.6
	17:00	欧	マークイット製造業PMI・確報	9月 58.2
	18:00	欧	失業率	8月 9.0%
	22:45	米	マークイット製造業PMI・確報	9月 53.0
	23:00	米	ISM製造業景況指数	9月 58.0
10月3日	03:00	米	カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.20-113.20	1.1750-1.1850	132.50-133.50

【マーケット・インプレッション】

先週末の海外市場でのドル/円相場は、レンジ内で方向感の乏しい展開となった。米8月PCEコアが市場予想を下回ると、112.22円まで下落。その後発表された9月シカゴ購買部協会指数が市場予想を上回ったほか、トランプ大統領が、FRB議長の次期候補を巡り、規制緩和に前向きなウォーシュ元FRB理事と面会したと伝わると、112.74円まで上昇し、112.50円レベルでクローズ。本日のドル/円相場は、動意に乏しい展開を予想する。週末に米9月雇用統計の発表を控えているほか、北朝鮮情勢や本邦政治情勢等の不透明要因もあり、積極的なポジションを傾ける地合いにはなく、動意に乏しい展開に終始しそうだ。

東京	朝方に発表された本邦8月CPIは概ね市場予想通りの結果となり市場の反応は限定的。その後公表された9月会合の日銀金融政策決定会合における主な意見では、引き続きの緩和政策を支持する姿勢が中心となり、こちらも市場への影響は限定的。本邦勢が半期末を迎えるこの日、朝方からドル円は堅調に推移する中で東京時間は112.49レベルでオープン。月末、半期末特有のフローが散見される中、ドル円は仲値にかけて112.68付近まで上昇。その後はややレベルを下げるも、日経平均が下げ幅を縮小させる中でドル円も112円台半ばでの底堅い推移が継続。クロスにかけてドル円は東京時間の高値となる112.73まで上昇し、結局112.67レベルでクローズした。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は小動き、112.67レベルでオープン。特目立った材料も無い中で週末を控えたポジション調整の売り等にロンドン時間安値112.36を付けた。その後は期末特有のフローを懸念してか小動きとなり112.48レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルは弱含んだ。1.3417レベルでオープン。発表された第2四半期GDP確報値が前年比で1.7%増から1.5%増に下方修正され2013年来の弱い伸びとなったことが嫌気されると1.3355まで値を下げる展開。その後は1.33台後半で様子見となり、結局1.3385レベルにてニューヨークへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、112円台半ばを挟んで推移し、112.48レベルでNYオープン。朝方発表された米8月PCEコアが予想を下回ると、米金利の下落と共にドル売りが強まり、ドル円はこの日の安値となる112.22まで下落。しかし、112円台前半ではドル円買い意欲も強く、その後発表された米9月シカゴ購買部協会景気指数が予想を上回ったことや、「FRB議長の指名を巡りトランプ大統領がケビン・ウォーシュ(元FRB理事)と面会した」との報道を受け、米大手銀出身のウォーシュ氏は規制緩和に前向きとの見方もあり、ドル買いが強まるとドル円はこの日の高値となる112.74まで上昇。その後発表された米9月ミシガン大学消費者マインド(確報値)が予想を下回ったことから112.42まで反落する場面もあったが、安く寄り付いた米株がプラス圏に浮上し、更に上げ幅を拡大させるとドル円は112台後半で底堅く推移し、112.50レベルでクローズした。なお、トランプ大統領はホワイトハウスでFRB議長人事は、2-3週間以内に決定するとの考えを記者団に話した。一方ユーロドルは1.1812レベルでNYオープン。弱い米8月PCEコアを受けて1.1833まで上昇するも、その後次期FRB議長人事を巡るヘッドラインドル買いが強まると1.1792まで下落。しかし1.17台後半ではユーロ買いも強く、その後は1.18台前半での推移が続き、1.1813レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 佐藤・鶴田